

から くに 韓の国 三十三観音聖地 巡礼の旅へ

韓国は儒教の国というイメージがありますが、実は敬虔な仏教徒も多く、日本とは趣の異なる壮麗な寺院が韓国全土に点在しています。各地にある観音信仰を持つ寺を巡る「韓の国三十三観音聖地」巡礼があると聞き、今回は3ヶ寺を参拝しました。韓国の仏教文化の奥深さを体感した旅となりました。

韓の国三十三観音聖地 巡礼とは

韓国に仏教が伝来したのは4世紀後半。以来、長い歴史の中で幾多の苦難を経て多くの高僧を輩出し、各地に名刹、古刹が数多くあります。仏教の真髄を韓国の人々のみならず外国人の人たちにも理解してほしいと、韓国観光公社と韓国仏教事業団とが共同で、韓国の代表的な寺院の中でも観音菩薩を祀っている33の寺を厳選して、韓の国三十三観音聖地巡礼の旅事業を開始しました。

この事業を日本で後押ししているのが韓の国観音聖地日本事務局。事務局長の寺崎嘉幸さんは「日本では、四国八十八か所巡りや各地の三十三観音巡りが千年以上の歴史を持ち、今も心の安らぎを求める人々が各地の寺を巡っています。お遍路文化があらためて見直されている現代。巡拝の習慣がない韓国でも観音巡りにより自国の仏教文化を再認識できるといいます。そして、日本からは仏教のルーツを訪ね、日本のお遍路とは違う新たな発見とともに、各寺の周辺の観光も楽しむことができるでしょう」といいます。サッカーの日韓ワールドカップの共催や冬ソナ以来の韓流ブームもあって、日韓の交流と理解が深まりつつありますが、あらたな交流の懸け橋が生まれたといえそうです。



何か分らないことがあれば、気軽に お問い合わせください

問/日本事務局 (福岡市)
☎092-716-0091
http://www.koria33kannon.com
日本事務局のホームページでは、三十三観音について詳しく紹介しているほか、巡拝を計画の方へのツアー情報などを提供。

お問い合わせ 韓国観光公社
http://www.visitkorea.or.kr

韓国三十三観音聖地納経帳



日本からの巡拝者のためのオリジナル納経帳。各寺で御朱印がもらえる (5000ウォン)

三十三観音聖地巡拝略図



香り高い松茸を食べよう!

洛山寺の位置は、南西に位置する9月中旬から9月15日～10月14日まで「外国人の松茸狩り現場体験」が開催される。専門ガイドとともに、山の中の山野草の観賞をしながら松茸狩りが楽しめる。費用は大人30000ウォン (採取したマツタケ1本と商品券5000ウォン付) 問/襄陽松茸祭り委員会 ☎(82-33) 670-2733または韓国観光公社へ

第二十一番 月精寺



▼大きな法堂の前にある国宝の八角九層石塔は釈迦牟尼仏のお骨を祀ったとされる舍利塔

満月山の山懐に抱かれるように立ち、樹齢数百年というもみの木の巨木の木々に取り囲まれ、広々とした境内は荘厳なたたずまい。70近くの寺や庵からなり、多くの僧侶が修行の日々を送っている。7世紀半ば、文殊菩薩信仰を広めた地蔵律師により創建された古刹。残念ながら朝鮮戦争で多くの建物が焼失したものの次々に再建され、火災を免れた国宝の八角九層石塔をはじめ、仏教遺物が数多く残っている。

第二十七番 洛山寺



▼海辺に立つ江連庵。庵の床に穴が開いており波が打ち寄せる洞窟を見ることができる

韓国の三大観音聖地のひとつで、16mの高さの海水観世音菩薩がシンボル。韓国東北部地域の海辺に位置し、すぐ目の前が海という絶好のロケーション。美しい景色を眺めながら老松が茂る広い境内をゆっくり散策できる。この寺は7世紀末に義湘大師が創建したとされ、境内には大師が観世音菩薩に出会ったという観音窟が今も残る。近くには、奇岩絶壁や雄大な山々が連なるダイナミックな景色が楽しめる雪岳山国立公園がある。

第二番 曹溪寺



▼極楽殿の脇侍仏として観世音菩薩像を奉安

ソウル都心にある大韓仏教・曹溪宗の総本山で韓国仏教の中心的存在。創建は約1000年前。極楽殿の天井から柱、扉まで色鮮やかに彩色が施され、金色に輝く阿彌陀仏、観世音菩薩が鎮座し壮麗な雰囲気。早朝から夜まで熱心な仏教徒たちはもとより一般の人々や外国人も多く訪れ、1日中参拝客が絶えないところ。2005年には、韓国仏教歴史文化記念館も境内にオープン。

※テンブルステイの受け入れ態勢や修行体験システム、参加費は各寺院によって違うので、詳しくは韓の国観音聖地日本事務局または韓国観光公社へお問い合わせを。

次は、僧侶の指導で鐘をたたき、ゴーンと森閑とした境内に響く鐘の音と共に煩悩も薄まりそう。8時からお菓子をいただきながら僧侶の説法を聞いて、9時には就寝。翌朝は4時起床。暗闇の中を本堂に向って、五体投地を108回繰り返す。立ち座り座りつらさのこの拝礼は結構な運動量。6時過ぎから夕食と同様に朝食を終え、その後、片付けてテンブルステイを終了。はるばる韓国に来て、日常とはかけ離れた空間で仏教に少しだけ近づけたような体験となった。

韓国の寺は僧侶の修行の場。僧侶と同様に修行やその生活を体験できるのがテンブルステイ。現在韓国全土の約100カ寺で宿泊が可能。月精寺では、テンブルステイの宿泊所が用意されており、シヤワール



▲鐘を突いて拝礼する ▲僧侶が修行の心得を講義

体験! 月精寺で テンブルステイ